



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 新明和工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7224 URL <http://www.shinmaywa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 五十川 龍之
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 広報・IR部長 (氏名) 実平 典子 (TEL) 0798-56-5002
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	108,098	9.7	6,099	50.7	5,826	35.8	3,670	13.2
2019年3月期第2四半期	98,557	2.7	4,048	△27.3	4,290	△24.8	3,242	△13.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 3,404百万円(16.8%) 2019年3月期第2四半期 2,913百万円(△36.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	56.30	—
2019年3月期第2四半期	34.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	199,264	84,686	42.2
2019年3月期	209,195	83,043	39.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 84,058百万円 2019年3月期 82,340百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	18.00	—	27.00	45.00
2020年3月期	—	66.00			
2020年3月期(予想)			—	21.00	87.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期中間配当金の内訳 普通配当21円00銭 創立70周年及び創業100周年記念配当45円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	5.8	11,500	7.4	11,000	5.4	6,500	△7.1	99.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	96,391,800株	2019年3月期	96,391,800株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	31,203,786株	2019年3月期	31,203,419株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	65,188,216株	2019年3月期2Q	94,987,709株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報)	P. 10
(重要な後発事象)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や所得水準の改善等がみられるものの、輸出の減速や設備投資の慎重化といった懸念材料がある一方で、世界経済においては、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速など、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

こうした中、当社グループは、3カ年の中期経営計画2年目となる当期も、企業価値向上に向けた諸施策を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、事業環境が堅調に推移したことなどから、受注高は116,501百万円(前年同期比1.3%増)、売上高は108,098百万円(同9.7%増)となりました。

損益面では、売上高の増加に加えて、原価低減活動等により収益性が改善した結果、営業利益は6,099百万円(同50.7%増)、経常利益は5,826百万円(同35.8%増)と各々大幅に増加し、これを受けて親会社株主に帰属する四半期純利益も3,670百万円(同13.2%増)となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概要は次のとおりであります。なお、各セグメントの受注高及び売上高には、セグメント間の内部受注高及び内部売上高を含んでおります。また、文中の受注(高)及び売上(高)の増減は、前年同期との比較であります。

(航空機)

防衛省向けは、受注は増加したものの、US-2型救難飛行艇の製造作業の進捗遅れなどから、売上は減少いたしました。

また、民需関連は、受注は減少し、売上は前年同期並みの水準となりました。

この結果、当セグメントの受注高は18,398百万円(前年同期比4.9%減)、売上高は18,870百万円(同8.2%減)となりましたが、原価低減活動等により収益性が改善し、営業利益は1,009百万円(同50.1%増)となりました。

(特装車)

車体等の製造販売は、国内需要が引き続き好調を維持した結果、受注は前年同期並みの水準となり、売上は増加いたしました。

また、保守・修理事業は、受注は減少し、売上は前年同期並みの水準となりました。

このほか、林業用機械等は、受注、売上ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は53,005百万円(前年同期比0.6%増)、売上高は46,628百万円(同4.9%増)となり、営業利益は3,618百万円(同5.8%増)となりました。

(産機・環境システム)

流体製品は、機器、システムともに需要が底堅く、サービス事業も堅調に推移した結果、受注、売上いずれも増加いたしました。

また、メカトロニクス製品は、自動電線処理機の受注が減少したものの、真空製品は前期に実施したM&A効果により受注及び売上が増加し、分野全体では受注は前年同期並みの水準となり、売上は増加いたしました。

このほか、環境関連事業は、受注は減少したものの、新設案件の工事が進捗したことなどから、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は18,592百万円(前年同期比2.1%増)、売上高は15,773百万円(同25.9%増)となりましたが、営業損益は33百万円の損失となりました。

(パーキングシステム)

機械式駐車設備は、大型のマンションやホテルなどの建設需要が堅調を維持した結果、受注、売上ともに増加いたしました。

また、航空旅客搭乗橋は、受注は減少し、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は19,974百万円(前年同期比14.3%増)、売上高は18,594百万円(同23.3%増)となり、営業利益は2,117百万円(同116.8%増)となりました。

(その他)

建設事業において、受注は減少したものの、売上が増加した結果、当セグメントの受注高は7,671百万円(前年同期比10.3%減)、売上高は9,338百万円(同17.4%増)となり、営業利益は551百万円(同30.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は、たな卸資産は増加したものの、売上債権を回収したことなどにより前連結会計年度末に比べて9,931百万円減少し199,264百万円となりました。負債は、仕入債務の減少や短期借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて11,574百万円減少し114,577百万円となりました。純資産は、配当金の支払いはあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより前連結会計年度末に比べて1,643百万円増加し84,686百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の39.4%から42.2%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、2019年4月26日に公表いたしました通期連結業績予想を以下の通り修正いたします。

2020年3月期 通期連結業績予想の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	230,000	11,000	10,500	6,300	96.64
今回修正予想 (B)	230,000	11,500	11,000	6,500	99.71
増減額(B-A)	—	500	500	200	—
増減率(%)	—	4.5	4.8	3.2	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	217,297	10,708	10,437	6,996	76.41

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,153	18,511
受取手形及び売掛金	64,300	58,671
電子記録債権	16,654	13,878
商品及び製品	3,766	3,358
仕掛品	18,468	20,087
原材料及び貯蔵品	16,938	19,592
その他	5,459	3,839
貸倒引当金	△58	△59
流動資産合計	148,683	137,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,635	14,629
その他（純額）	20,230	22,105
有形固定資産合計	34,865	36,735
無形固定資産		
	2,768	2,572
投資その他の資産		
その他	22,915	22,111
貸倒引当金	△38	△35
投資その他の資産合計	22,877	22,076
固定資産合計	60,511	61,383
資産合計	209,195	199,264

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,371	25,187
短期借入金	49,051	46,813
1年内返済予定の長期借入金	238	111
未払法人税等	2,423	1,176
製品保証引当金	7	5
工事損失引当金	4,748	4,164
その他	24,981	21,814
流動負債合計	110,822	99,272
固定負債		
長期借入金	603	566
退職給付に係る負債	12,594	12,808
その他	2,132	1,929
固定負債合計	15,330	15,305
負債合計	126,152	114,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	15,737	15,737
利益剰余金	94,992	96,902
自己株式	△44,597	△44,598
株主資本合計	82,113	84,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,951	1,776
土地再評価差額金	△376	△376
為替換算調整勘定	259	119
退職給付に係る調整累計額	△1,607	△1,485
その他の包括利益累計額合計	226	35
非支配株主持分	702	628
純資産合計	83,043	84,686
負債純資産合計	209,195	199,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	98,557	108,098
売上原価	84,156	91,440
売上総利益	14,401	16,658
販売費及び一般管理費	10,352	10,558
営業利益	4,048	6,099
営業外収益		
受取利息	8	13
受取配当金	98	103
持分法による投資利益	81	146
為替差益	129	—
受取保険金	—	152
その他	68	61
営業外収益合計	387	479
営業外費用		
支払利息	5	153
為替差損	—	127
休止固定資産費用	10	14
借入手数料	6	265
債権流動化費用	99	140
その他	23	50
営業外費用合計	145	751
経常利益	4,290	5,826
特別利益		
固定資産売却益	—	17
投資有価証券売却益	695	—
退職給付制度移行益	278	—
特別利益合計	974	17
特別損失		
固定資産売却損	—	15
固定資産処分損	192	296
災害による損失	206	—
特別損失合計	399	311
税金等調整前四半期純利益	4,864	5,532
法人税、住民税及び事業税	1,201	1,185
法人税等調整額	395	720
法人税等合計	1,597	1,905
四半期純利益	3,267	3,627
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	24	△42
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,242	3,670

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	3,267	3,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△424	△174
為替換算調整勘定	△19	△128
退職給付に係る調整額	128	122
持分法適用会社に対する持分相当額	△38	△42
その他の包括利益合計	△353	△223
四半期包括利益	2,913	3,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,892	3,478
非支配株主に係る四半期包括利益	21	△74

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,864	5,532
減価償却費	2,421	2,595
売上債権の増減額 (△は増加)	12,099	8,226
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,108	△3,852
仕入債務の増減額 (△は減少)	△244	△4,111
その他	△3,928	△1,316
小計	13,104	7,073
利息及び配当金の受取額	216	145
利息の支払額	△4	△151
法人税等の支払額	△2,296	△2,407
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,019	4,660
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,010	△4,947
無形固定資産の取得による支出	△374	△266
その他	△426	125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,811	△5,088
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	826
短期借入金の返済による支出	△90	△3,000
長期借入金の返済による支出	—	△112
自己株式の取得による支出	△2,667	△0
配当金の支払額	△1,527	△1,760
その他	△117	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,401	△4,157
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	△56
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,778	△4,642
現金及び現金同等物の期首残高	18,750	21,952
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,528	17,309

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	20,556	44,440	12,524	15,056	92,578	5,979	98,557	—	98,557
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1	5	24	31	1,971	2,003	△2,003	—
計	20,556	44,442	12,529	15,080	92,609	7,951	100,560	△2,003	98,557
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	672	3,419	△315	976	4,753	422	5,175	△1,126	4,048

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,126百万円には、セグメント間取引消去△57百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,069百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	18,870	46,625	15,769	18,574	99,839	8,259	108,098	—	108,098
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	3	4	20	27	1,079	1,107	△1,107	—
計	18,870	46,628	15,773	18,594	99,867	9,338	109,205	△1,107	108,098
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	1,009	3,618	△33	2,117	6,712	551	7,263	△1,163	6,099

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,163百万円には、セグメント間取引消去△9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,154百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

自己株式の消却

当社は、2019年9月26日開催の取締役会において、会社法第178条第1項の規定に基づく自己株式の消却を行うことを決議し、自己株式の消却を実施いたしました。

- | | |
|--------------|---|
| 1. 消却した株式の種類 | 当社普通株式 |
| 2. 消却した株式の数 | 26,391,800株
(消却前の発行済株式総数に対する割合 27.38%) |
| 3. 消却実施日 | 2019年10月31日 |